

★4 プランの総合的な推進

☆11 関係諸団体との連携・協力

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
47	男女共同参画審議会との連携及び協力	地域経営課	継続	内容:男女共同参画の推進を図るため、三条市男女共同参画審議会から指導・助言を仰ぐ。	【実施状況】 内容:男女共同参画審議会を2回開催し、令和2年度の推進プラン実施計画及び実施状況の審議を行った。		A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 6/6=100%
48	関係機関、各種団体等との連携及び協力	地域経営課	継続	内容:男女共同参画講座等の開催に際し、各種団体の協力を仰ぐ。	【実施状況】 内容:関係各種団体に対し、男女共同参画セミナー等の開催案内チラシを配布し、周知について協力を仰いだ。また、セミナーを開催する際に、関係機関及び各種団体と連携した。		A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 6/6=100%

☆12 男女共同参画センターの活性化

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
49	男女共同参画センターの充実及びPRの強化	地域経営課	継続	内容:男女共同参画センターを各種講座の会場として利用することにより、センターの稼働率を上げる。また、各種講座開催時にセンターのパンフレットを配布することでセンターの周知を図る。 目標値:男女共同参画センターにおける講座の開催回数2回以上	【実施状況】 例年男女共同参画セミナーの会場を男女共同参画センターとして開催していた。しかし、新型コロナウイルス感染症対策でより広い会場での開催が必要となり、市主催のセミナーでの利用は出来なかった。 目標値への到達度:男女共同参画センターにおける講座の開催0回で目標値未達成	今年度は収容人数の影響で利用実績を作ることが困難であった。今後もできる限り当センターで講座を開催し、市民及び市民団体にセンターの存在を知っていただく機会を提供する。 また、男女共同参画センターのパンフレットを活用し、様々な機会を通じて周知を図っていく。	B 1…- 2…- 3…- 4…- 5…3点 6…1点 合計 4 /6=66.6 %

☆13 男女共同参画推進のための環境整備

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
50	計画の推進状況の報告書の作成と公表	地域経営課	継続	内容:今年度の計画の実施状況を取りまとめ、ホームページで公表する。	【実施状況】 内容:令和2年度の計画の実施状況を作成し、審議会に諮った後、ホームページで公表する。		A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 6/6=100%
51	広報紙のイラスト等による固定的役割分担イメージの払しょく	政策推進課	継続	実施時期:年間 対象:市民全体 目的:固定的役割分担意識の解消 内容:広報さんじょうに掲載するイラストは、性別による役割分担イメージを固定化した表現や男女で異なる表現を使わないように事前に指示する。また、記事本文についても広報広聴係でチェックする。 前年度からの改善点:イラストに限らず、イメージ画像や記事本文についても対象とする。	【実施状況】 発行部数:(1日号・16日号共に36,650部) 内容:広報さんじょうに掲載するイラスト等について、性別による固定的役割分担をイメージさせないようなイラストにするよう事前に指示した。また、広報紙を確認したところ固定的役割分担をイメージさせるイラストはなかった。 工夫した点:大学に関する特集記事において、男性の写真のみを使用せず、女性の写真も使うことで、性別による固定的役割分担のイメージを排除するよう工夫した。	引き続き、固定的役割分担をイメージさせるイラストや記事本文が掲載されることのないよう確認を徹底していく。	A 1…3点 2…— 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 15/15=100%
52	保育ルーム、要約筆記の設置	地域経営課	継続	目的:多様な人が各種講座等に参加できるようにする。 内容:各種講座、フォーラム等に保育ルーム・要約筆記等を設置する。また、次年度の予算要求時には、地域経営課から各課に保育ルーム・要約筆記等を設置するよう依頼する。	【実施状況】 内容:各種セミナー開催時に保育ルームを設置した。また、地域経営課から各課に保育ルーム設置及び要約筆記等を設置するよう働きかけた。		A 1…— 2…3点 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 9/9=100%

☆14 市役所内における男女共同参画の推進

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
53	男性職員の育児休業及び介護休暇取得の推進	人事課	継続	<p>実施時期: 随時            対象: 職員            目的: 男性職員の家事や育児の実践を支援し、子育て環境の充実、就労環境改善を図る。            内容: 配偶者の出産に伴い男性職員が育児休業や部分休業を希望した場合に、職員、所属、人事担当が連携を図り、個々の事情に合わせた育児休業の取得方法について検討するなど、個別の相談に随時対応する。所属長に所属職員の休暇、休業等の活用を促すよう周知する。育児休業又は介護休暇取得職員の代替職員の円滑な確保を図る。            前年度からの改善点: 利用者が少ないため、より分かりやすい周知方法を検討する。            目標値: 育児休業 5% (連続して2週間以上のものを対象とする。)、部分休業・介護休暇・介護による時差出勤 40%            ※それぞれ取得者の全体に対する男性職員の割合</p>	<p>【実施状況】            内容: 育児休業等について新たな制度周知チラシを作成し、全所属に周知するとともに、改めて所属長に配偶者が出産する男性職員がいる場合は積極的に育児休業をはじめとした仕事と家庭の両立支援制度の活用を促すよう通知した。工夫した点:            ・制度周知に当たって、現在の育児休業活用は男性が少ない状況を職員に伝えた。            ・チラシには、職員が育児休業取得をためらう要因となる休業中の収入面の説明や、実際の活用者の声を載せるなどし、育児休業に対するハードルをなるべく下げよう心掛けた。            ・育児休業に加え、子の看護や出産休暇などの紹介も行った。            目標値に対する結果: 育児休業 取得者0人、部分休業、介護休暇、介護による時差出勤 取得者0人で目標未達成。※ただし、育児休業6日間取得者1人の実績あり</p>	<p>毎年、定期的に全職員に制度を周知するとともに、会計課や互助会と協力し、配偶者の出産があった職員個人にチラシを配布するなど、活用を更に促していきたい。</p>	<p>B            1…—            2…—            3…—            4…3点            5…3点            6…0点            合計            6/9=66.6%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
54	職員に対するセクシュアル・ハラスメント等のハラスメント防止に向けた啓発	人事課	継続	<p>実施時期: 随時  対象: 職員  目的: 性別の区別なく就労環境の改善を図る。  内容: セクシュアル・ハラスメント等の防止について、啓発文書などにより職員への周知を図り防止に努める。また、職員がより相談しやすい職場環境を整備し、相談内容や状況に応じ、適切に対応するための体制の整備を行う。  前年度からの改善点: 引き続き職員が相談しやすい環境づくりと啓発に努める。</p>	<p>【実施状況】  内容: 窓口を設置し随時相談を受け付けるとともに、職員がより相談しやすい職場環境を整備するため、内部の相談窓口だけでなく外部の相談機関について知らせる体制を築いている。  工夫した点: セクシュアル・ハラスメント等の防止についての啓発文書で、セクシュアル・ハラスメントだけでなく、妊娠・出産に関するハラスメントやパワーハラスメントなどについても内容を記載し、職員へのハラスメントについてさらなる理解向上に努めた。  目標値に対する結果: セクシュアル・ハラスメント等性別に起因するハラスメントの発生件数0件であり、目標を達成できたと考える。また、外部の相談機関についても周知する体制を築き、より相談しやすい環境を整えることができた。</p>	<p>引き続き、ハラスメント防止について啓発を行うとともに、ハラスメントがあった場合に相談しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>A  1…—  2…—  3…—  4…3点  5…3点  6…3点  合計  9/9=100%</p>